

2007
Guide Book

Niigata College of Nursing



新潟県立看護大学

- ◆看護学部 看護学科
- ◆大学院看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

新潟県立看護大学の

建学の精神

ゆうゆう・
くらしづくり

- ◆ 地域とともに発展する大学
- ◆ ヘルスケアに携わる関係者の生涯学習への期待に応える大学
- ◆ 県民のくらしづくりに貢献する大学
- ◆ 独自性をもってゆうゆうと、看護学教育・研究に邁進する大学

新潟県立看護大学の

mission (使命と任務)

地域文化に根ざした
看護科学の考究

- ◆ 風土と文化の多様性の上に成り立つ社会・経済の構図、及び人々のヘルスケア授受の振る舞い行動に関すること
- ◆ 個人・地域・国際社会各々の文化に根ざしたヘルスケアの質の向上に関すること



新潟県立看護大学学長
中島 紀恵子



新 潟県立看護大学は2002年4月に地域に開かれた大学として「地域文化に根ざした看護科学の考究」を大学の使命として発足しました。この実現のために、学生間、大学間、地域間の連携と交流を積極的に進めております。

今 世紀、国民はヘルスケアシステムに対する品質管理と個別ケアの質の拡充を求めています。特に看護従事者に対しては、人権感覚に根ざした専門知識、技術に裏打ちされた優しいかわわりと、できる責任をきちんと果たす自律した看護専門家としての能力を期待しております。

看 護は男女を問わず魅力的な職業です。看護学は真に奥の深い学問です。本学教員は、看護固有の学的系譜に強い関心をもって学び、誇りをもってケアに専心し、自らの専門性を高めるために生涯学習することに励むことのできる人材の育成に責任を持ちます。また、そのための環境作りに全学をあげて努力します。

本 学は1年次から4年次にかけて少人数教育に取り組んでおります。1年次の「ふれあい実習」は、地域の中で専門家として働く意味を考えることがねらいです。年次進行とともに逐次人間の健康の成り立ちや病態のメカニズムを学びつつ、看護の専門知識・技術を学習します。3年次からは、本格的な臨地実習が始まります。4年次には、各自が希望する場所での専門実習、専門セミナーを経て研究論文を作成することになります。

2006年3月には90名の最初の卒業生が旅立って行き、それぞれの持ち場で活躍しております。また4月からは、わが大学の将来発展の礎となるべく、本学に大学院看護学研究科修士課程が開設され、より深く看護学を学ぶべく大学院生が入学してまいりました。今後とも新潟県立看護大学は益々学習環境と研究体制の充実をめざしてまいります。

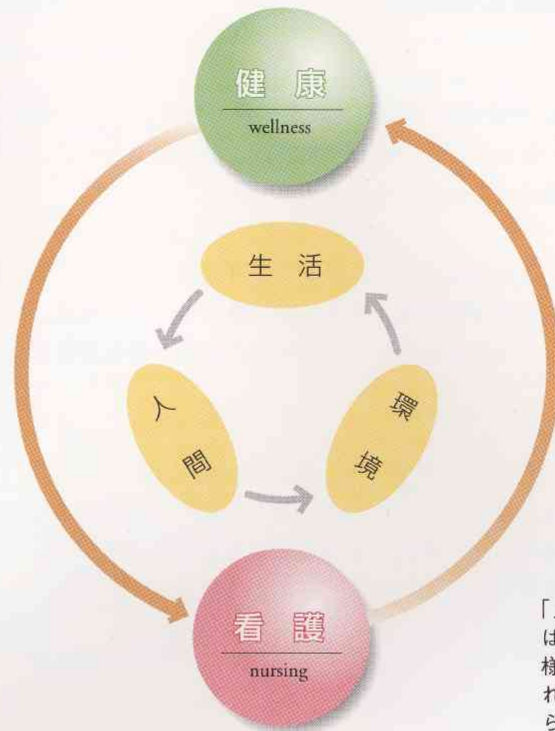
皆 さまの入学を心からお待ちしております。



校章に込められた思い
Niigata College of NursingのNiigataの「N」、Nursingの「N」と新潟県の県花「チューリップ」とを合わせイメージした。赤の「円」は燦然と輝く希望の太陽とみなぎる活力を、「N」は手に手をつなぐ看護の人・もの・情報の発信と保健・医療・福祉の総合的視野に拓く創造性を表現し、これは又、21世紀をリードする新潟県立看護大学が力強く飛翔発展する雄姿を象徴しています。



Curriculum



現代社会の看護に対するニーズは疾病の予防、健康保持から社会復帰、ターミナルケアに至るまで広範囲にわたっています。こうしたニーズに応えられるよう、新潟県立看護大学では知識・技術を備え持ち、人が何を感、何を望んでいるのか考え、受け止めることのできる優れた人材を育成します。

「人間」を理解することからはじめ、私たちをとりまく様々な生活環境から影響される健康を、看護の視点から学んでいきます。

履修年次別授業科目

科目群	履修年次	1年次		2年次	
共通科目	人間環境科学領域	教育学 心理学 社会学 文化人類学	哲学 法学		
		情報科学	情報処理演習 行政法	保健・医療行動科学 地域福祉社会論	社会保障論
		英語表現法I(会話) 英語表現法I(記述) 英語表現法I(読解)		英語表現法II(会話) 英語表現法II(記述)	
		基礎ゼミナール			
共通科目	生物・医学領域	生物学 化学	環境生態学		
		形態機能学I 形態機能学II 微生物学	臨床生化学 臨床病理学I	臨床病理学II 臨床栄養学 公衆衛生学	疫学
共通科目	健康総合科目	総合科目I			
		健康スポーツ学			
専門科目	基礎看護学領域	看護倫理 看護学概論	在宅ケア論 ふれあい実習		
			看護技術論 基礎看護技術演習I	基礎看護技術演習II 基礎看護学実習	
	臨床看護学領域			母性看護学I 小児看護学I	母性看護学II 小児看護学II
				成人看護学I	成人看護学II
	地域生活看護学領域			老年看護学I	老年看護学II
				精神看護学I	精神看護学II
看護研究			地域看護学I	地域看護学II	

看護大学が目指すこと



いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。

看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。

あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。

深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。

看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。

保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。

コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。

多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。

グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。

地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。

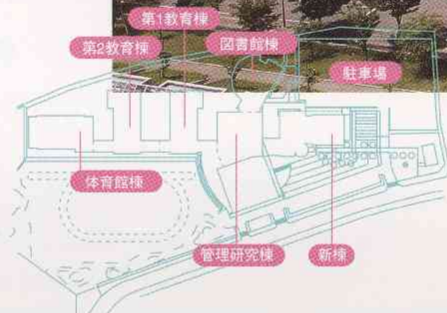
	3年次 ※1		4年次	
			宗教学	
臨床薬理学	健康医療福祉・政策論		保健福祉・住民組織論 地域経済論	
	英語表現法Ⅱ(読解)			
医事法	保健統計演習			総合科目Ⅱ
			看護行政論	国際看護活動論 看護管理
	新生児看護論 母性看護学演習 小児看護学演習	母性看護学実習 小児看護学実習	[自由選択 ^{**2} 、助産学Ⅰ(前期)、助産学Ⅱ(前期)、助産学実習(通年)]	
	成人看護学演習	成人看護学実習		
	老年看護学演習	老年看護学実習		
	精神看護学演習	精神看護学実習		
	地域看護学Ⅲ	地域看護学演習	地域看護学実習	
			専門ゼミナール 専門実習	看護研究

※1 3年次編入学生の授業科目は、別途指定します。

※2 自由選択科目の助産学は、開講しないことがあります。

豊かな自然とあたたかい人に囲まれて、
貴重な学生生活を送ることができるキャンパスです。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた「上越市」。本学は、桜の名所として知られる高田公園も近く、城下町としての歴史や文化にふれる絶好のロケーションにあります。充実したキャンパスライフの拠点として、看護のプロを目指すにふさわしい環境がここにあります。



キャンパス全景



成人看護学演習

術後患者の体位交換やリハビリテーションについてのデモンストレーションを行っています。



県立中央病院

高度・先進的な診療機能を有する県内最大級（536床）の病院です。大学に隣接しており、基幹実習施設となります。



母性看護学演習

新生児モデルを使って健康状態の観察を行っているところです。



総合科目Ⅰ

「人間関係と表現への気づき」のひとコマ。他者に働きかけ、関わりを作り出していく力に目覚めることを目標とします。



看護技術論

授業の締めくくりに「看護技術の開発」と題して少人数で1ヶ月間のワーキングを行い、1つの技術をより深く理解して、改良に向け考察発表します。



高校生のための授業見学を行っています。高校生から進路決定の参考としてもらうため授業の一部を聴講してもらうものです。

Interview

▶ **夢は海外支援のナースマン!**

佐々木 内匠 1年生 新潟県出身

オープンキャンパスで、整った学習・研究環境、きれいな施設に惹かれました。授業外でも看護について熱く語る、先生や先輩も頼りになります。いろいろな関わりを力に、後々は海外医療支援に携わりたいです。



▶ **地域での実習と桜蓮祭が楽しみ**

岡田 美加子 1年生 茨城県出身

実際に臨床経験のある先生から学べるなど、恵まれた環境の中で、看護師、保健師の資格を持った養護教諭を目指します。地域に密着した「ふれあい実習」、サークルの発表がある「桜蓮祭」も楽しみの一つです。



▶ **広い視野を持った看護師を!**

田村 佳宏 2年生 栃木県出身

脳梗塞の祖母を家族で介護してきた経験をきっかけに、看護師になりたいと思いました。1年生で学んだ基礎を実習に生かし、様々な視野に目を向けられるような考える力を養っていきたいと思います。



▶ **地域に密着した貴重な体験!**

天城 美香 2年生 新潟県出身

2年生からは、看護師らしい実技の授業が始まります。注射や点滴などの演習は難しいけれどやりがいがあります。「ふれあい実習」では、地域の人の家にホームステイさせてもらうなど貴重な経験ができました。



いつも笑顔に満ちている学内。仲間たちと感動を体験。

4月に入学したかと思うと瞬く間に月日が過ぎてしまう学生生活。貴重な時間をいかに有効に使うかが将来の夢を実現するカギとなります。期待を胸に、さあキャンパスライフのスタートです。



レセプションホール

3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建物構造を活かした演奏会などにも利用できます。



合同講義室

全107席で100インチのビデオプロジェクターや資料提示装置を完備しています。



ホール

講義時には2つの講義室として使用されます。また、研究発表会や式典にも利用することができ、プラズマディスプレイ等最新の視聴覚器材が整備されています。



情報科学教室

パーソナルコンピュータ102台を使用し、文書作成、表計算、データベースの検索、作成等についての演習を行います。

● 年間カレンダー



Interview

▶ 地域と臨床を結ぶ小児看護を

泉 侑宏 3年生 新潟県出身

看護師として現場を経験後、さらに深く学んでいます。看護は一方的なものではなく時に教えられる部分もあり、生涯学べる職業だと思います。小児看護を専門とし、地域と臨床の架け橋となればと思います。



▶ 社会人からあきらめずに挑戦

坂上 修一 3年生 新潟県出身

夢をあきらめきれず、社会人からチャレンジ！年下の仲間や先生とも壁を感じず、自然体で学んでいます。救命救急や手術室の看護師への夢を抱きつつ、自分の強みを生かした看護を探求していきたいです。



▶ 現場の雰囲気を感じる実習

朝倉 里衣 3年生 山形県出身

3年生からは演習が増え、実際に看護計画を立てるなど、より現場に近くなります。相手の立場に立って考え、いろいろな患者さんとふれあえる実習でより深く学んでいます。



入学式



球技大会



継燈式

臨床実習に出る前に看護の道への決意を述べる儀式です。



桜蓮祭

11月に行われる自治会主催の大学祭です。



Interview

▶ 患者に信頼される看護師に

金子 絵美 4年生 新潟県出身

看護を目指す人は、人間が好きな優しい人です。でも、ただ優しいだけではなく、自分でよく考えてみるということが必要です。「地域看護学実習」前の演習でその人に合ったプラン作りはやりがいがあります。



▶ 患者視点でみられる看護師へ

福田 顕生 4年生 長崎県出身

サークルをかけ持ちし、「桜蓮祭」の企画、運営など、仲間や地域の人たちと楽しみながら関わってきました。夢は、創傷などをケアする「WOCナース」。患者側に寄り添えるスペシャリストを目指します。



▶ 自然豊かな地元に根ざして

相田 恵 4年生 新潟県出身

専門学校卒業後に入学。ゆとりのあるカリキュラムで自ら学ぶ力がつきました。今後は、終末期の家族のケアを考えていけたらと思います。新潟が大好きなので、看護師としても地域に根ざしていきたいです。



看護学部看護学科

領域の解説



専門科目

基礎看護学領域

看護の基礎となる理論や技術を学びます。

基礎看護学領域は「基礎看護学」、「看護技術学」および「看護管理学」から構成されています。看護を実践する基盤となる理論や基礎技術、看護職者の効果的な役割遂行のための看護管理など看護学に共通して必要な基礎知識・技術の学習を担っています。

1年次前期に学習する「看護学概論」では看護とは何かを歴史的に概観し、看護学の主要概念について学びます。また「看護倫理」では、現代の医療現場で注目されている「患者の自己決定」「インフォームドコンセント」など看護における倫理的問題を取り上げて学習します。後期には生活の場で展開するケアの特徴を概観し、療養者の状況および家族や生活への影響、ケアシステムなどについて「在宅ケア論」で学ぶとともに、入学後最初の実習となる「ふれあい実習」において、上越地域で暮らす人々の生活の場に入って行き、人々と交流しながら地域文化に触れ、生活者の視点で生活の基盤となる価値観や看護が果たす役割について考えます。また「看護技術論」、「基礎看護技術演習Ⅰ」および「基礎看護技術演習Ⅱ」では、看護技術や看護技術を適用することとは何かを考えるとともに、人間の健康と生活を整えることの意義や方法について基礎知識を学習し、応用して生活援助技術や診療の補助技術、ヘルスアセスメントの技術などを演習で身につけていきます。

2年次前期にはそれまでに学んだ看護の学習を活かして、「基礎看護学実習」で病院における実際の看護活動に触れ、習得した看護技術を適用して患者の健康状態や置かれた状況に見合った日常生活援助を実践する能力を養います。

その後さまざまな学習を積み重ね、4年次には「看護管理」において看護職者が効果的に役割を遂行できる組織のあり方や体制、リーダーシップのとり方等について学習します。



(後・左より)	助手 / 岡村典子	教授 / 堀良子
	講師 / 松下由美子	助教授 / 水口陽子
	助手 / 水澤久恵	学長 / 中島紀恵子
	助教授 / 中川泉	教授 / 柿川房子
		助教授 / 朝倉京子



臨床看護学領域

臨床看護学領域は次の3つの分野から構成されています。

母性看護学

女性のライフサイクルの中で特に生殖期にある女性や新生児を対象に健康現象やそれに関わる家族・地域を含む知識・理論、援助技術・実践方法を学びます。

小児看護学

乳児期・学童期・思春期を対象に、成長・発達に基づき生じる健康現象やそれに関与している家族・地域を含む援助技術・理論・実践方法を総合的に学びます。

成人看護学

成人期に特有な健康現象のうち、慢性期や急性期に伴って生じる様々な援助技術・理論・実践方法を学びます。

2年次の授業では、講義の中で、知識と理論を中心に、母性看護学、小児看護学、成人看護学の各分野に特徴的な病態と看護を理解していきます。各分野の看護学についての理解を深めるには、1～2年にかけて学ぶ形態機能学や臨床病理学の知識が重要になります。

3年次では、2年次で学んだ知識を基に、前期の演習で、できるだけ実際の臨床場面を想定した上で、患者や家族のかかえる問題を取り上げ、アセスメントおよび援助方法を具体的に学びます。

また、演習の中ではシナリオを基に、7～8人程度のグループになり、自分たちで課題を設定しながら解決していくPBLといった新しい学習も行います。臨床看護学領域では、母子看護学演習室、成人看護学演習室、シミュレーション室など、学生が援助技術を自己学習できるように設備や器材を充実させていますので、演習では、かなり臨床に近い看護が学べると思います。

3年次後期には、いよいよ臨床実習が開始になります。実習は、1グループ5名程度の少人数制で展開されていきます。主に上越地域の病院に実習に行きますが、分野によっては、障害児施設などの見学も取り入れています。



(後・左より)

教授／加藤光寶
 助手／大久保明子
 助手／西方真弓
 教授／加固正子
 助手／飯田智恵
 助手／石岡幸恵

(中・左より)

講師／酒井禎子
 助手／横田陽子
 講師／直成洋子
 講師／笹野京子
 助手／内藤知佐子

(前・左より)

教授／加城貴美子
 教授／深澤佳代子
 助教授／井上みゆき
 講師／渡部真奈美
 助手／山田正実
 講師／高柳智子

地域生活看護学領域

地域生活看護学領域は、老年看護学、精神看護学、地域看護学の3つの看護学の分野から構成されています。

老年看護学は、高齢者の尊厳に深く注目しつつ、その人らしい自立のあり方を支援するための基礎能力を育てることを目指しています。老年看護学Ⅰでは高齢社会、ならびにそこに生きる高齢者とその家族の実情や問題への理解を通して、老年期の発達課題に対応した看護の進め方を、老年看護学Ⅱでは老年期特有の生活や健康上の問題を把握し、それを解決するための看護の方法を学びます。これらの学びをより実践的かつ総合的に深められるよう、老年看護学演習並びに老年看護学実習が開講されます。実際には、高齢者の模擬体験、ロールプレイ、グループ討論など、皆さんの感性と思考をフル回転させるような体験実習プログラムを取り入れながら展開していきます。

精神看護学では、当事者主体のケアについて学びます。「精神」とは何か? 「心」とは何か? 誰でも一度は真剣に考えることがあるでしょう。医学や看護学の範囲を超えた広い領域にわたる問題です。現代社会にはいろいろな心の問題が存在します。しかし、それら全てが心の健康問題という訳ではありません。医療・看護サービスの原点は、悩み苦しむひとが「自ら求める」ことに応えるという点にあります。自然に精神看護学の範囲も決まってくる。精神看護学は、精神の健康と健康障害について理解するとともに、健康障害に苦しむ人が、「自ら求める」ことに応えるために必要な知識・技術・態度を習得する科目です。精神看護学の実習を行う精神病院は、人権・プライバシー・セクシャリティを尊重する、当たり前前の病院であり、入院している人だけではなく、地域社会で生活する人も活用できる各種のサー

ビスを行っています。

地域看護学では、地域で暮らす人々の健康の向上を目指す看護を学びます。地域看護学Ⅰでは地域を基盤とした看護活動の基本理念をヘルスプロモーションの視点から理解を深めます。地域看護学Ⅱでは、乳児から高齢まで、全ての年齢層の人たちに対する地域看護の方法を学習します。地域看護学Ⅲでは、個人、家族、集団を対象とした地域看護活動の方法・技術を学びます。さらにこれらの学びをより実践的にするために、事例を用いて学内演習を展開していきます。実習は保健所・市町村の保健師活動と訪問看護ステーションの訪問看護活動に参加して、実際の活動を体験します。



(中・左より)

教授 / 野地有子
 助手 / 櫻井信人
 講師 / 後田 穰
 教授 / 北川公子
 助教授 / 小林恵子
 助教授 / 平澤則子
 講師 / 飯吉令枝
 教授 / 栗生田友子

(後・左より)

助教授 / 原 等子
 助手 / 菅原峰子



(前・左より)

助手 / 村川英伸
 助手 / 浦山留美
 助手 / 野口裕子
 助手 / 長瀬亜岐
 助手 / 齋藤智子



共通科目

人間環境科学領域

人間環境科学領域は、5つの科目を教授する6人の教員から構成されています。開講している科目と担当教員を紹介します。

文化人類学 藤田 尚助教

文化人類学では、現在のわれわれに至る生き物としてのヒトの進化を概観し、あわせて我々の身体的特徴、社会性がいかにして成立したかを学びます。霊長類の進化から我々の生物学的特徴・社会的特徴がどのように進化し獲得されてきたか、さらに人類の進化として、猿人から現生人類までの進化の過程を学び、現代日本人がどのように成立したのかを考えます。

社会学 渡辺弘之講師

「社会学」では、社会学の基本的な概念である「集団」、「役割」、「地位」といった概念を通して、近代家族と人間関係の意味について学びます。また「地域福祉社会論」では、福祉サービスの実際と利用の方法、今後の社会福祉のあり方について理解を深めます。

保健・医療行動科学 徐 淑子講師

人間は、健康を守り高めるために、また、病気から早く回復するために、さまざまな行動を工夫して行っています。保健・医療行動科学では、これらの行動が起こる背景にはどのような心理的・社会的条件がそろっているのか、どのような個人的・社会的条件がそろってこれらの行動が起こりやすいのかについて、身近な例を取り上げながら考えていきます。

英語 中村博生助教 山本淳子講師

英語の授業では、看護学生の読解力・会話力・記述力を向上させるため、さまざまな工夫をしています。「読解」では、看護や医療



(後・左より)
講師 / 渡辺 弘之
助教 / 中村 博生
助教 / 橋本 明浩
助教 / 藤田 尚
(前・左より)
講師 / 山本 淳子
講師 / 徐 淑子

問題などについて英語で概観できるよう、教材を精選し指導しています。「会話」では、興味別クラス編成を行い、病院における看護英会話やコンピュータを活用して、リスニング能力向上などを狙ったマルチメディアラーニングなどを試みています。「記述」では、基礎的なパラグラフライティングの学習から、看護に関する英文をもとにしたライティングの指導を行っています。

情報科学 橋本明浩助教

情報の学習では、情報リテラシーとコンピュータエシックスを基盤とし、将来必要となる情報科学に関する行動様式や思考様式の力を培うことを目標としています。1年生では、基本的なリテラシー習得と情報処理の持つ長所・短所の把握を行いながら、方法処理の原理を学びます。3年生では、論文発表に必要な統計処理や保健統計の考え方を学習します。

生物・医学領域

《自然科学》

看護学における、生物・医学的な基盤科目としての生物学、化学、形態機能学、臨床生化学、臨床病理学を担当する領域です。これらの学問分野から人体を見渡すことにより、常に自然における人類の位置を考慮することを忘れず、生物としての人間のあり方を考えていきます。複雑にして巧妙な人体の構造と機能を理解しつつ、人類と疾病との関わり、疾病のメカニズム、および病態の変化を探求していきます。

生物学では細胞や遺伝子について学びながら「生物としてのヒト」の理解を深めます。また、現代生活のいたるところに「化学」が溶け込んでいることから、安全で快適な生活のための化学の視点から、健康と医療、環境とエネルギーについて考察します。必修科目である形態機能学では、人体の構造と機能を学び、臨床生化学では生体を構成する物質とその代謝を学びます。これらの学びの中から、疾病の理解には生体内の代謝と遺伝子の理解が基礎である、ということ学習します。また臨床病理学では、疾病を持つ人間を全人的に見つめ、病的状態への基本的過程、個人的対処行動や医療的対処行



(左より)
教授 / 吉山 直樹
教授 / 杉田 収
教授 / 中野 正春
教授 / 関谷 伸一

動の基礎知識を学びながら、回復を促進させる看護の専門性を獲得することを目指します。

各教員の専門分野は異なりますが、それゆえそれぞれの持ち味を生かした教科内容を提示することができます。このことによって学生諸君は、恒常的な感動体験を得ながらこれらの分野を学ぶことができ、その結果、看護の専門性獲得に必要な生物・医学的な学びを深めることができると確信しています。

平成19年度 学部入学者選抜要項

1. 募集人員

入学定員	特別選抜		一般選抜		3年次編入定員
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期	
90名	30名	若干名	50名	10名	10名

※一般選抜前期試験の募集人員には社会人特別選抜の若干名を含む。

2. 個別試験科目

区分	特別選抜		一般選抜		3年次編入学
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期	
個別試験科目	小論文(英文資料の読解を含む)グループ面接		小論文グループ面接		看護学英語個別面接
試験会場	新潟県立看護大学				
出願期間	H.18 11/1～11/8		H.19 1/29～2/6		H.18 7/31～8/7
試験期日	H.18 11/25		H.19 2/25	H.19 3/12	H.18 9/6
合格発表	H.18 12/4		H.19 3/6	H.19 3/20	H.18 9/15

3. 特別選抜の方法

A. 一般推薦

(1) 出願資格

次のいずれにも該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者となります。

- ・新潟県内の高等学校を平成19年3月卒業見込みの者
- ・調査書の全体の評定平均点が4.0以上の者
- ・看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
- ・合格した場合、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1 高等学校当たりの推薦人数については、3名以内とします。

(3) 選抜方法

小論文(英文資料の読解を含む)、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

B. 社会人特別選抜

(1) 出願資格

次のいずれにも該当する者となります。

- ・大学入学資格を有する者
- ・平成19年4月1日時点で、社会人の経験を3年以上(夜間・定時制・通信教育以外の学校、専修学校及び各種学校に在籍していた期間を除く。)有する者
- ・看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者

(2) 選抜方法

小論文(英文資料の読解を含む)、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

4. 一般選抜の方法

(1) 出願資格

- ・大学入学資格を有する者で、平成19年度大学入試センター試験で本学が入学志願者に解答させる教科・科目を受験した者となります。

(2) 選抜方法

- ・小論文、グループ面接、大学入試センター試験の得点結果及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

5. 3年次編入学試験の方法

(1) 出願資格

次のいずれにも該当する者で、大学入学資格を有する者となります。

- ・看護系短期大学を卒業した者(見込み者含む)、又は看護系専修学校専門課程を卒業した者(見込み者含む)で大学編入学資格を有する者。
- ・看護師免許取得者(見込み者含む)

(2) 選抜方法

看護学、英語、面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

6. 募集要項の請求の方法

(1) 直接大学へ請求

返信用封筒(請求者の住所・氏名を明記した角形2号の封筒)に、必要とする募集要項の種類(「編入学募集要項」、「一般選抜募集要項」又は「特別選抜募集要項」)を朱書きし、必要な金額の切手(いずれか一つの場合240円、複数の場合390円)を貼付して、新潟県立看護大学教務学生課に申し込んでください。編入学は6月中旬、その他は8月中旬より配布を予定しています。出願締切を十分考慮して、早めに申し込んでください。

(2) ホームページからの請求(一般選抜用のみ)

新潟県立看護大学のホームページ <http://www.niigata-cn.ac.jp> から直接請求できます。

(3) テレメール(インターネット・電話)での請求(24時間対応、一般選抜用のみ)

① インターネット(携帯電話・パソコン)

または電話をご利用ください。

インターネット(携帯電話・パソコン)の場合	電話の場合
 <p>http://telemail.jp 携帯電話(iモード・EZweb・Vodafone live!)、パソコンとも共通アドレスです。</p>	(IP電話) 050-2015-0555 (一般電話) 06-6222-0102
<p>QRコード ※対応する携帯電話で読み取れます</p> 	IP電話・一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

② 資料番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料番号
大学案内	568750
一般選抜募集要項	588750
一般選抜募集要項・大学案内	548850

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※送料は資料到着後、同封の払込用紙で支払ってください。

※受付から2～3日で送付されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一言に郵送します。

(4) 郵便局での請求(10月より案内開始、一般選抜用のみ)

全国の郵便局に設置されている「全国 国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」(入学願書ゆうパックカタログ)に必要な事項を記載の上、送料と払込み手数料(100円)を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。

※上記(2)(3)(4)での請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
050-2015-5050 (9:30～18:00)



CAMPUS LIFE

Q & A

こんなコト、あんなコト、期待も不安も学生生活の新しい環境にはつきもの。答えます、あなたの質問に。(みなさんからいただいた質問のうち、数の多かった質問について、掲載しました。)



Q 入学科、授業料はいくらですか？

A 入学科は、新潟県の住民28万2千円、新潟県以外の住民56万4千円となっています。授業料は平成18年4月現在、53万5千8百円と規定されていますが、今後改定された場合、改定された額を適用します。

Q 奨学金制度はありますか？

A 奨学金制度には日本学生支援機構、その他地方公共団体等によるものがあります。ただし、採用条件を備えていても奨学金採用数が限られているため、必ずしも希望者全員が採用されるとは限りません。手続きの方法や詳細については、事務局にご相談下さい。

Q 教員の陣容はどのようになっていますか？

A 本学は、学問としての看護科学を学び、実践的能力、コミュニケーション・コーディネート能力や生涯学習能力を備えた「専門的職業人」を育成します。これらの特色あるカリキュラムを実施するため、専任教員を58名配置する予定としており、18年度は51名となっています。なお、58名のうち看護系の教員は47名となっており、専門教育に力を入れております。

Q 授業についていけるか不安です。大丈夫でしょうか…？

A 初めて学ぶことばかりで、誰でも不安に思うかも知れません。でも心配はありません。本学では、皆さんが必要とする技術や知識がしっかりと習得できるように、各専門分野ごとに優れた先生方がわかりやすく授業を進めていきますので、安心して勉学に励んでください。また、わからないことや疑問点があったら、積極的に尋ねて下さい。わかりやすくお答えします。

Q 学生寮はありますか？

A 学生寮はありません。希望する学生にはアパート情報を提供します。希望する方は気軽にご相談下さい。大学の近くに近年多くのアパートが建築されました。

卒業時に取得できる資格

●看護師国家試験受験資格

●保健師国家試験受験資格

(保健師国家試験合格後、申請により
養護教諭2種免許が授与されます)

卒業後の進路

高齢化社会の進展や介護保険制度の施行などにより、医療・保健・福祉の連携が重視されるようになり、看護職のニーズは、病院以外の福祉施設や地域、家庭へと拡大しています。

卒業後の進路

	県内	県外
国公立	17	24
民間	17	23
その他	9	

●病院

患者さんの病気の回復を助けます。

●保育所

子供の健康と成長を守ります。

●大学院進学

専門職としての研究方法を学び、専門看護師や大学の教員として活躍します。

●企業内の健康管理室

働く人々の健康管理をします。

●海外での看護活動

JICA(国際協力事業団)や青年海外協力隊などの活動に参画します。

●小・中・高校保健室

生徒の健康管理や相談に応じます。

●研究所

最先端の看護の研究を進める他、企業の製品開発の研究に参画します。

●訪問看護ステーション

自宅で療養している患者さんへケアをします。

●看護の教育機関

看護学生の教育・指導にあたります。

●老人保健施設・特別養護老人ホーム

病気をもち施設で暮らしている高齢者の日常生活を支えます。

●保健所・市町村

地域の人々の健康管理や相談に応じます。

●診療所

地域の人々の病気の回復を助けます。

Q 生活や学習について悩みがあった場合、相談に乗ってくれるところがありますか？

A 1年次・2年次には担任教員を配置しています。また、各教員はオフィス・アワーを設け、授業についての質問や学習に関する相談に乗れる体制を整えています。

Q アルバイトをしたいけれど、できるんですか？ アルバイト情報はあるのですか？

A 学生時代はいろいろな経験をすることも大切な勉強です。学生としてふさわしいアルバイト情報を掲示板等で提供します。

Q 実習施設にはどんなものがありますか？

A 大学の隣に位置する地域拠点病院の新潟県立中央病院(病床数536)をメインに病院実習を行います。その他、保健所や市町村、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなど、様々な実習施設が確保されています。

Q 特別選抜の小論文と面接について

A 小論文については、英文資料の読解を含み、90分の試験時間です。内容は、分析能力、感受性、英文内容把握能力などを評価するものとなっています。グループ面接の方法は試験時に指示されます。

Q 3年次編入学について

A 看護系短期大学を卒業した者(見込み者含む)又は看護系専門学校(専修学校専門課程)の卒業生(見込み者含む)で看護師免許取得者(見込み者含む)を対象としています。

大学院

看護学研究科(修士課程)

受験資格について

次の各号のいずれかに該当する人は出願することができます。

- (1) 国内・国外の大学を卒業した者（及び卒業見込みの者）
- (2) 本学大学院の個別の審査によって、認められた者

注(2)に該当して出願しようとする人は、事前に本学大学院の「出願資格審査」を受けることが必要です。この審査基準は、以下のとおりです。(ア又はイのいずれかに要該当)

- ア 大学在学3年以上、又は外国において15年の教育課程修了者で、英語のレベルが実用英語技能検定2級(TOEFL460点、TOEIC470点、その他同等)以上の実力を有する者
- イ 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種専門学校の卒業(修了)者で、看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有しており、かつ、次の①から③のうちのいずれかに該当する者
- ① 資格者としての実務経験が5年以上あるか、又は看護師長等以上の職位の経験がある者
 - ② 研修学校(厚生労働省、看護協会、都道府県などの公的機関又はそれに相当する機関)における6ヶ月以上の看護教員養成課程等又は継続教育課程を修了している者
 - ③ 英語のレベルが実用英語技能検定2級(TOEFL460点、TOEIC470点、その他同等)以上の実力を有する者

長期履修制度

について

本大学院研究科(修士課程)の標準の修業年限2年ですが、働いている方などが修学しやすく、修業年限を3年とする長期履修制度を設けます。

なお、授業料については「修業年限2年分」＝「修業年限3年分」として、双方の合計額が同額で済むように定めています。

教育課程の特色

について

専門科目は、『看護の質保証領域』、『臨床実践看護学領域』と『地域生活看護学領域』の3つの領域から成っています。

『看護の質保証領域』

複雑かつ高度化していく医療技術の流れの中で、施設・在宅に関わらず適切で質の高い看護サービスを提供するシステムの分析や開発ができる行政能力・看護管理能力の修得を目的としており、「医療倫理」と「看護管理学」の2分野で構成されています。

『臨床実践看護学領域』

人のライフサイクルの変化に伴う看護の高度臨床実践能力の修得を目的としており、「母子看護学」、「成人慢性・障害看護学」と「がん看護学」の3分野で構成されています。

『地域生活看護学領域』

個人一家族一地域社会の繋がりに着目して、高齢者や地域に生活する人々に対する多様な看護実践や看護技術の修得を目的としており、「老年看護学」と「地域看護学」の2分野で構成されています。

専門看護師(CNS)

教育課程について

専門看護師のうち、「成人看護(慢性)」「がん看護」「老年看護」「地域看護」の4分野について、資格取得に対応できる内容の授業科目を配置しており、平成19年度には「がん看護」と「地域看護」の教育課程の認可申請を行う予定です。

授業料など

について
(18年4月現在)

入学料は新潟県の住民は28万2千円、新潟県以外の住民は56万4千円です。授業料は53万5千8百円となっています。今後改定された場合は改定後の額を適用します。

選抜方法等

- (1) 募集人数 15人
- (2) 選抜方法 学科試験(英語・看護専門科目)、面接

授業科目

共通科目 (必修)	看護学研究法 (質的・量的)	看護理論
共通科目 (選択)	文献講読 看護情報統計学 病態治療学特論 運動機能障害学特論 形態機能学特論 環境疫学 人類学概論 対人関係特論 健康社会学 環境心理学	
専門科目 (必修)	看護学領域特別研究 (修士論文)	
専門科目 (選択)	看護の質保証領域	
	「医療倫理」	臨床倫理 看護倫理特論 看護技術特論
	「看護管理学」	在宅ケア提供組織活動論 看護経営・管理論 看護人材開発論 クリティカルケアマネジメント論 看護政策論
	臨床実践看護学領域	
	「母子看護学」	母子看護学方法論 周産期母子看護援助展開論 母子家族関係特論 障害母子看護援助展開論 母子看護学特別演習
	「成人慢性・障害看護学」	成人慢性・障害看護学方法論 成人慢性・障害看護援助展開論 成人慢性・障害看護学特別演習Ⅰ 成人慢性・障害看護学特別演習Ⅱ
	「がん看護学」	がん看護学方法論 がん看護援助展開論 がん看護学特別演習Ⅰ がん看護学特別演習Ⅱ
	地域生活看護学領域	
	「老年看護学」	老年看護学方法論 老年看護援助展開論 認知症看護論 老年期リハビリテーション看護論 老年看護学特別演習Ⅰ 老年看護学特別演習Ⅱ
	「地域看護学」	地域看護学方法論 地域看護援助学展開論 学校保健・養護教育展開論 産業看護展開論 地域看護学特別演習Ⅰ 地域看護学特別演習Ⅱ

科目等履修生について

- (1) 出願資格について
大学院の出願資格と同じです。
- (2) 履修科目等について
履修を希望することができる授業科目は、下記の中から当該年度において本大学院学生の受講を認めた授業科目に限ります。

専門科目 (選択) 臨床倫理 看護経営・管理論

共通科目 (選択) 病態治療学特論 運動機能障害学特論 形態機能学特論 環境疫学
人類学概論 対人関係特論 健康社会学 環境心理学

- (3) 授業料等について (18年4月現在)
入学金は8万4千6百円、授業料は1単位あたり1万4千8百円とする。
今後改定された場合は改定後の額を適用します。
- (4) 選考方法
書類審査、面接



看護研究交流センター

新潟県立看護大学には、「看護研究交流センター」という全国の公立看護系大学では2番目とされる研究機関が大学開設時より併設されています。地域および行政がかかえる課題の研究や地域支援事業の活動を通して、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与します。関係機関・団体等との連携を図りながら、本学の使命である「地域文化に根ざした看護科学の考究」を推進することが究極の目標です。



センター事務局

情報交換と検索の場として、インターネット検索や統計処理が可能な機器を備えています。少人数のカンファランスも可能です。

センターの組織



多目的室

設備に視聴覚機器を備え、研究発表会や多人数用の会議室として利用できます。準備室が付属しており大きな機器・機材の展示も可能なスペースが確保されています。



看護研究交流センターの主な事業・業務

1. 総務部会
センターの総務的な仕事を担当
2. 研究支援部会
研究の実施（センター地域課題研究、他施設との共同研究）、および研究支援（外部研究資金の獲得等）
3. 生涯学習・研修支援部会
市民向け生涯学習支援（一般公開講座等）、および看護職員人材育成支援
4. 地域貢献部会
他大学・自治体・団体・企業との連携、および地域ネットワーク形成支援
5. IT促進部会
学内外の学習環境および情報化促進支援
6. 国際交流支援部会
教員・学生の国際的学術交流、外国研究者との共同研究支援

図書館

大学の図書館は、看護に関する資料を中心に所蔵しています。このような図書や資料を活用したい方はどなたでも利用できます。看護に関することで調べたいことがある場合など、ぜひ出掛けてみてください。

- ・開館時間 月曜日～金曜日 9:00～20:30
土曜日 9:30～16:30
- ・休館日 日曜日や大学の休業日は休館しています。事前に電話で確認してください。
- ・サービス 貸出や必要に応じて複写できます。詳しくは、図書館職員にお聞きください。



採光のよくとれたゆったりとしたフロアは2階構造で、教育・研究に必要な図書や雑誌、視聴覚資料などが豊富に揃えています。閲覧席は1階が48席、2階は32席で、他にAV席も設置され教材もより充実しています。



スタート地点は上越市。

充実したキャンパスライフの拠点、上越市。豊かな自然に恵まれた新潟県西部の商工業都市です。春日山城下町、高田城下町として長い歴史と文化が引き継がれています。また快適な都市機能を持ち陸路・海路ともに交通の要衝ともなっています。



高田駅周辺
高田駅前通りとそれに交差する本町通りは上越市の中心商業地として賑わっている。



高田城(三重櫓)
慶長19年(1614)、松平忠輝の居城として築かれた。現在高田公園となり、桜の名所として知られ多くの観光客が訪れる。





新潟県立看護大学

- ◆看護学部 看護学科
- ◆大学院看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

住 所 / 新潟県上越市新南町240番地
 問い合わせ先 / 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
 新潟県立看護大学 教務学生課
 TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815
 U R L <http://www.niigata-cn.ac.jp>
 E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp